

## ごあいさつ

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟  
会長 表 孟 宏



皆様におかれましては、希望に満ちた平成27年のスタートをされ、27年度のシーズンが待ち遠しいことと、推察申し上げます。

ソフトテニス競技は、多くの方々に支えられ生涯スポーツとして老若男女に幅広く愛好されておりますが、昨年ソフトテニス創始130年と当連盟創立90周年を迎えることができました。国際的にも着実に振興し約40の国と地域にソフトテニスの愛好者がおります。韓国・仁川市において開催された第17回アジア競技大会では日本選手団は、男女国別で2個の銀メダルと女子ダブルスで1個の銅メ

ダルを獲得しました。今年の第15回世界ソフトテニス選手権大会では前回はを超える大きな成果を期待したいと思います。

27年度は、日本で生まれたソフトテニスを世界に誇れる格調高いスポーツとして普及振興を図るため、「ソフトテニス長期基本計画2012」の4年度目として「ソフトテニスの普及振興事業」、「ソフトテニスの競技力向上事業」、「ソフトテニスの国際振興事業」を3本柱として取り組んで参ります。

また、当連盟では環境配慮とフェアプレイ・マナー向上活動の推進に取り組んでいます。キーワードは環境宣言「来たときよりも美しく!」とフェアプレイ宣言「ありがとうあなたの笑顔とそのマナー」です。

より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## (公財)日本ソフトテニス連盟 創立90周年記念祝賀会

11月29日、東京都内のホテルで(公財)ソフトテニス連盟創立90周年記念祝賀会が盛大に開かれました。

当日は、約400名の全国のソフトテニス関係者が参加。表会長が挨拶で日本発祥のソフトテニスの興味深い歴史を紹介した後、各種の表彰が行われました。また、最新版ソフトテニス指導教本、映画「案山子とラケット」、ソフトテニス入門マンガ「グリップ」の3つの記念事業が大画面に映され、会場は大いに盛り上がりました。



内田昌一顧問による乾杯



主催者代表挨拶 表孟宏会長



来賓 文部科学省競技スポーツ課課長  
坪田知宏氏による祝辞

## マスコットキャラクター 愛称募集



日本ソフトテニス連盟創立90周年を迎えマスコットキャラクターが誕生しました!より一層ソフトテニスを盛りあげていけるよう日本各地の大会におじゃまする予定です。

そこで、多くの皆様に親しんでいただけるマスコットキャラクターとしてふさわしい愛称を広く募集いたします。

**応募方法** メールまたはFAX

**応募資格** どなたでもご応募いただけます。

**募集締切** 2015年2月28日(土)

**賞品(記念品)** 最優秀作品1点 ラケット1本とラケットバック1個  
優秀作品5点 ラケット1本  
特別賞5点 ラケットバック1個

詳細は日本連盟ホームページをご確認ください<http://www.jsta.or.jp/>

## 平成26年度 各層の全日本チャンピオン

大会名	男 子	女 子
全日本小学生選手権大会	矢野颯人・濱田 祐 橋本ジュニアクラブ(和歌山)	藤原麻央・徳永葉波 倉敷ジュニアクラブ(岡山)
全国中学校大会	高倉和毅・山根稔平 清明学園中学校(東京)	下江遥花・浦口華音 太子東中学校(兵庫)
全国高校選手権大会	丸岡俊介・宮田裕章 尽誠学園(香川)	西岡真理華・橋本新菜 三重(三重)
全日本学生選手権大会	船水雄太・九島一馬 早稲田大学(学連)	小林奈央・平久保安純 早稲田大学(学連)
全日本学生選手権大会(シングルス)	井口雄介 日本体育大学(学連)	小林奈央 早稲田大学(学連)
全日本社会人選手権大会(一般)	篠原秀典・小林幸司 日体桜友会・ミズノ(東京)	横山温香・阿部悠梨 ナガセケンコー(東京)
全日本社会人選手権大会(成年)	新田貴徳・横石智 徳島市役所・抽栄会(徳島)	高井志保・住友友里 吹田クラブ(大阪)・大神子病院(徳島)
全日本選手権大会	水澤悠太・長江光一 NTT西日本広島(広島)	佐々木舞・大庭彩加 NTT西日本広島(広島)
全日本シングルス選手権大会	長江光一 NTT西日本広島(広島)	大庭彩加 NTT西日本広島(広島)
全日本シニア選手権大会	45 上松明裕・橋本康徳 岡山市役所(岡山)・京都市役所(京都)	片山順子・中牟田千恵 福大クラブ(福岡)
	50 小関 覚・小野吉則 椎之木クラブ(埼玉)・上福岡テニス(埼玉)	上山親子・藤井春美 ファニー(大阪)・T・Mクラブ(奈良)
	55 鈴木義之・指宿睦仁 西脇クラブ(兵庫)・高岳クラブ(兵庫)	江利角富美子・安達伸子 スポーツマンシップ(大分)
	60 常久正則・直原隆司 岡山南高クラブ(岡山)・広友会(広島)	増田加奈・荻谷さと志 岡崎バード(愛知)・一宮花・花(愛知)
	65 木藤勝敏・熊田章甫 大阪OB軟庭会(大阪)・TEAM KUMA(岐阜)	大塚恵美子・林 孝江 高崎中央クラブ(群馬)・川口クラブ(埼玉)
	70 玉野寿一・高田晴隆 わいわいクラブ(東京)・言問庭球クラブ(東京)	高羽邦子・山田悦子 塚ミルフィーズ(大阪)・東大阪アミー(大阪)
	75 辻井平三・平野雄司 ゴーセン(大阪)・南大阪クラブ(大阪)	住友康江・福田久恵 すずらんクラブ(兵庫)・枚方市連盟(大阪)
	80 田万豊廣・大西貞夫 亀城クラブ(香川)・大阪市役所(大阪)	

### 平成27年 強化チームスタッフ

【男 子】	【女 子】
日本代表・ナショナル アドバイザー 小野寺 剛 巣鴨学園	
日本代表	日本代表
監督 齊藤 広宣 松戸市役所	監督 田中 弘 田中企画
コーチ 中堀 成生 NTT西日本広島	コーチ 高川 絳生 ヨネックス
トレーナー 川上 晃司 スポーツインテリジェンス	トレーナー 吉川友巳奈 ゆらく接骨院
ナショナル・U-20	ナショナル・U-20
監督 中津川澄男 東北高校	監督 小峯 秋二 高岡西高校
コーチ 浅川 陽介 HY-PROJECT	コーチ 伊加 英隆 尽誠学園高校
トレーナー 深間内 誠 鈴鹿回生病院	トレーナー 高川 亜紀 日域整形外科
U-17	U-17
監督 池田 征弘 西城陽高校	監督 高井 志保 履正社医療スポーツ専門学校
コーチ 高橋 茂 清明学園中学校	コーチ 柴田 真弓 秋田西高校
トレーナー 中野 道治 スポーツインテリジェンス	トレーナー 橋本 貴子 スポーツインテリジェンス
U-14	U-14
監督 橋本 康徳 京都市立西総合支援学校	監督 安達 和紀 城山クラブ
コーチ 松元 誠二 福岡市役所	コーチ 成田扶美代 成田企画
トレーナー 兼平 智孝 仙台北部整形外科	トレーナー 上田 未来 みなみ整形外科

### 平成27年 日本代表チーム選手

【男 子】	【女 子】
選手 小栗 元貴 早稲田大学	選手 加瀬 祐佳 早稲田大学
高月 拓磨 早稲田大学	脇田 愛 早稲田大学
長江 光一 NTT西日本広島	小林 奈央 早稲田大学
増田 健人 和歌山県庁	山下ひかる ヨネックス
柴田 章平 同志社クラブ	森田 奈緒 ヨネックス
船水 雄太 早稲田大学	平久保安純 早稲田大学

### 平成27年 ナショナルチーム選手

【男 子】	【女 子】
選手 篠原 秀典 日体桜友会	選手 阿部 悠梨 ナガセケンコー
小林 幸司 ミズノ	横山 温香 ナガセケンコー
中本 圭哉 NTT西日本広島	柿崎あやの ヨネックス
丸中 大明 中央大学	小林 美咲 NTT西日本広島
水澤 悠太 NTT西日本広島	森原 可奈 東芝姫路
井口 雄介 日本体育大学	徳川 愛実 タカギセイコー
桂 拓也 和歌山県庁	小谷菜津美 ダンロップ
鈴木 琢己 中央大学	神谷絵梨奈 ヨネックス
船水 颯人 東北高校	原野 亜衣 ダンロップ
九島 一馬 早稲田大学	深澤 昭恵 東芝姫路
上松 俊貴 岡山理科大学付属高	佐々木聖花 早稲田大学
村上 雄人 NTT西日本広島	中川 瑞貴 ナガセケンコー

### 平成27年 全日本U-20チーム選手

【男 子】	【女 子】
選手 星野 慎平 高田商業高校	選手 尾上 胡桃 鈴峯女子高校
丸岡 俊介 尽誠学園高校	若田実友子 東芝姫路
宮田 裕章 尽誠学園高校	泉谷 朋香 昇陽高校
山本 祐輝 同志社大学	西岡真理華 三重高校
岡本 光生 日本体育大学	米山 芽玖 ダンロップ
村田 匠 日本体育大学	永井 里佳 早稲田大学
立木 雅也 中京高校	山田 優菜 城山観光ホテル
安藤 圭祐 早稲田大学	百田 琴音 中村学園女子高校
塩田 顯 日本体育大学	下田 夢奈 城山観光ホテル
安藤 優作 中京高校	松家 梓 東芝姫路

### 平成27年 全日本U-17チーム選手

【男 子】	【女 子】
選手 上岡 俊介 上宮中学校	選手 林田 リコ 杉戸町立広島中学校
山岡 宙 上宮中学校	笠井菜々子 鈴峯女子中学校
山根 稔平 清明学園中学校	久保 晴華 神戸市立大池中学校
北本 達己 寺井中学校	中別府瑞希 姫路市立大津中学校
内本 隆文 上宮高校	下江 遥花 太子東中学校
高倉 和毅 清明学園中学校	浦口 華音 太子東中学校
内田 理久 三重高校	貝瀬ほのか 和歌山信愛高校
丸山 海斗 上宮高校	吉田 菜里 昇陽高校
満端 亮二 高田商業高校	小山 舞 和歌山信愛高校
田邊 雅人 三重高校	清水 彩 三重高校
長尾 景陽 岡山理科大学付属高	上田 理央 文化学園大学杉並高校
金子 大祐 高田商業高校	花園 優帆 国本女子高校
井山 宏典 東北高校	寺戸 理紗 中村学園女子高校
杉山 斐梧 岡山理科大学付属高	元村 華楠 中村学園女子高校
藤木 敦也 昭和学院中学校	近藤 利奈 三重高校
因 京将 石川県立能登高校	大貫 彩 三重高校
瀬口 翔太 大牟田高校	島津 佳那 千代田女学園中学校
白井 雅之 鹿児島商業高校	上田 麗湖 尚綱高校
原口 峻一 尽誠学園高校	浅田 実那 高岡西高校
米沢 要 石川県立能登高校	福田 麗優 大仙市立大曲中学校

### 平成27年 全日本U-14チーム選手

【男 子】	【女 子】
選手 矢野 颯人 橋本ジュニア	選手 藤原 麻央 倉敷ジュニア
濱田 祐 和歌山LCC	徳永 葉波 倉敷ジュニア
北野 亮介 西郷第一中学校	浅見今日子 生野ジュニアソフトテニスクラブ
林 湧太郎 吉富中学校	小林 愛美 川口市立芝東中学校
田中 駿平 上宮中学校	森岡 輪 就実中学校
伊藤 端哉 多治見中学校	田川 美鈴 熊野市立有馬中学校
松村 駿樹 熊大教育学部付属中学校	矢作 舞彩 川口市立戸塚中学校
長島 奨 佐世保市立広田中学校	上野 小町 昇陽中学校
深野 尚矢 土浦第四中学校	竹田 真樹 大津中学校
小倉 輝 川口市立芝中学校	佐古 香織 東海市立加木屋中学校
中村 海斗 吉富中学校	高橋 柚圭 大分市立南大分中学校
福田 成海 芳賀町立芳賀中学校	大津 陽菜 山形市立第九中学校
室 智輝 国東市立安岐中学校	幸野 紅映 登米市立東和中学校
池口 季将 王寺中学校	原口 美咲 下山門中学校
齊藤 龍二 鶴岡第一中学校	杉山 歌音 鈴峯女子中学校
真玉 大輔 松江市立第四中学校	岡田あさひ 高知市立横浜中学校
中川 健太 下松中学校	鈴木 優美 鎌倉第二中学校
小林 将貴 燕中等教育学校	宮村 優花 宝達志水町立押水中学校
藤久 雄士 荒井中学校	谷水 鈴香 紫原中学校
安藤 誠彦 岡崎市美川中学校	松岡 琴美 生野ジュニアソフトテニスクラブ

平成27年度事業計画(平成27年4月1日～28年3月31日)

I. ソフトテニスの普及振興事業

- ソフトテニス競技規則の制定
  - ソフトテニス競技(ダブルス・シングルス)を実施するために必要な競技規則を定めることを目的として、ソフトテニスの振興と競技性の向上等、より安全に楽しく競技できるように必要に応じて検討を行い改訂し、ソフトテニスハンドブック(競技規則・審判規則・大会運営規則)やジュニア審判マニュアル(競技規則・審判規則・大会運営規則)やジュニア審判マニュアル(低学年用)及びDVDの活用
  - 審判講習会用パワーポイントの活用
- 日本で発祥した競技であることから、国際ソフトテニス連盟(以下ISTF)やアジアソフトテニス連盟(以下ASTF)における中心的なリーダー国として国際競技規則との整合性を図ると共に、英語版審判技術マニュアル(DVD)等を活用して国際普及の推進を図る。
  - 国際競技規則の改訂を検討
- 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
  - 国内競技会を大会実施要項に基づき実施する。
    - 平成27年度大会日程および会場
    - 大会要項の改訂
  - 大会の検討と大会運営の改善
    - 全日本選手権大会の検討
    - 新規全日本大会の検討
    - JOCジュニアオリンピックカップ大会全日本ジュニア選手権大会
    - 全日本シングルス選手権大会
    - 日本スポーツマスターズの充実
    - 大会参加申込のシステム化
    - 主催大会開催地への支援
    - 主催大会における大会運営マニュアルの活用と役割分担の明確化を図る。
    - ゼッケンの着用
    - 簡易得点板の設置
    - 大会審判のワッペン着用の義務化
    - 勝者審判制の導入
- 地域ソフトテニス大会支援
  - 地域等における競技会開催に、次のとおり補助を継続して行う。
    - 9地区選手権大会
    - 地区高校選抜大会
    - 9地区中学選手権大会
    - 壮年東西対抗大会
    - 全日本学生同好大会
- 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
  - 地域グループ育成のため、次の事業を実施する。
    - 地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
    - ソフト小学生大会への補助
    - 支部中学生大会への補助
    - ソフトテニス週間の実施
    - ソフトテニス愛好者増加対策
    - 指導者バンク(地域)の活用促進
    - 総合型地域スポーツクラブの研究
    - 傷害補償制度の徹底
- ソフトテニスの広報活動
  - メディア対策
    - ①新聞報道の充実
    - ②テレビ放映の充実
  - ホームページの運営
    - ①ホームページ等の充実
  - 広報誌発行
    - ①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行
    - ②会員報の年2回発行
    - ③大会記録集の発行
  - ソフトテニスの歌の活用
  - ソフトテニスのアビールと周知
 

2020年の東京オリンピックを見据え、製作した映画について映画館での上映における観客増を図るとともに、あらゆる場所・機会を通してソフトテニスの認知度をさらにあげるようにする。漫画及びDVD付き指導本についても、より多くの読者に購読してもらえよう創意・工夫・実行していく。さらに当連盟のキャラクターであるうさぎの着ぐるみを小学生や中学生の大会等に登場させ、ソフトテニスを広くアピールする。
- ソフトテニスの表彰・顕彰
  - 各種表彰を現行の表彰基準により次のとおり行う。
    - ①国内関係表彰
    - ②国際大会入賞
    - ③特別功労者または団体
    - ④その他、特に必要と認められたもの
  - ランキング選手表彰基準の見直しを行う。
- ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定
  - ソフトテニスを愛好する者に自己の実力を確かめ、さらに技術を向上するための目標を与えることを目的として、技術等級制度規程に基づき、次の事業を実施する。
    - ①名誉指導員の認定
    - ②技術等級の認定(大会実績、検定会)
    - ③技術等級システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進と、大会申込システムとの連携
    - ④技術等級資格取得者増大のための大会参加条件の見直し
- ソフトテニスの審判員資格認定
  - 公認審判員規程に基づき、次の事業を実施する。
    - ①マスターレフェリーの認定(50歳以上)
    - ②マスターアンパイヤーの認定(50歳以上)
    - ③1級審判員の認定(新規、更新)、及び検定会・研修会の実施
    - ④2級審判員の認定(新規、更新、ジュニア審判員からの移行)
    - ⑤1級審判員検定会・研修会の実施
    - ⑥2級審判員研修資料の提供
    - ⑦審判員バンクの創設及び派遣審判員の実施
    - ⑧審判技術DVDの活用
    - ⑨ジュニア審判員普及への促進
    - ⑩競技規則等の見直し
    - ⑪審判システムの活用と大会参加資格チェック

II. ソフトテニスの競技力向上事業

- ソフトテニスの競技力向上、医学研究調査
  - 競技力向上
    - 世界No1の実力の維持を目指した競技力向上に関し、次の事業を実施する。
      - ①競技者育成プログラムの推進
      - ②日本代表チームの強化合宿
      - ③ナショナルチームの強化合宿
      - ④全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿
      - ⑤競技力向上のための海外遠征
      - ⑥強化スタッフの各種大会視察
      - ⑦競技力向上のための調査・研究
      - ⑧医学サポート体制作りの検討
  - 医学研究調査
    - 各種フィットネステストデータを分析し、競技力向上を図るため、以下の研究・調査を行う。
      - ①国内大会での撮影および映像分析、国際大会における戦術分析
      - ②栄養調査・分析・指導
      - ③医学研究報告書の作成・発行
      - ④コンディショニングバイブルの作成
- アンチ・ドーピング
  - アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動
  - 国内大会におけるドーピング検査の実施
  - 国際連盟およびアジア連盟と連携してのアンチ・ドーピング活動を推進
- ソフトテニスの指導者育成
  - 指導者養成
    - ①指導者養成事業の推進
    - ②全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
    - ③指導者バンク(日本連盟)の推進、活用
    - ④指導者バンク(地域)の活用推進

III. ソフトテニスの国際振興事業

- ソフトテニスの国際振興
  - 国際普及活動の推進
    - ①国際組織(ISTF、ASTF)内での指導的立場に基づく国際性の向上
    - ②普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者を日本での研修受入れ
    - ③ジュニア、シニア等の交流促進
    - ④国際競技規則の改訂についての検討
    - ⑤用具の提供、流通の促進
    - ⑥普及指導用諸教材の整理と追加作成をして、普及活動を促進
    - ⑦国際普及親善活動に結びつく、支部活動に対する「国際親善大会補助費」の助成
    - ⑧スポーツアコード等国際会議への積極的参加(継続)
  - 国際指導体制、審判体制等の充実
    - ①国際指導員制度(ASTF)の推進
    - ②国際審判員制度(ASTF)の推進
    - ③ISTF、ASTFのアンチ・ドーピング活動の推進
  - 国際大会の開催促進
    - ①第15回世界選手権大会(2015年、場所未定)の運営を支援
    - ②第8回アジア選手権大会(2016年)の開催地の検討
    - ③第18回アジア競技大会(2018年 インドネシア)への招致活動
    - ④海外の国際大会への積極的参加及び加盟国への参加要請
    - ⑤その他国際大会への支援
  - 国際組織(ISTF、ASTF)への活動
    - ①ユニバーシアード、シーゲームなど国際大会参加に向けての積極的な活動および支援
    - ②国際ルール改訂に向けての検証と実施
    - ③国際版ホームページの活用と推進
    - ④アンチ・ドーピング活動の推進(日本が主導)

【各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策】

- 組織と財政の強化を推進する。
  - 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行うために、環境と教育に取組む。ソフトテニスを通じて環境保全を図っていくとともに、自己責任及びフェアプレーの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図っていく。環境宣言「来た時よりも美しく」フェアプレイ宣言「ありがとう あなたの笑顔とそのマナー」の横断幕の設置を行い、環境とマナーの向上を図る。
    - ①大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たちが、見る人たちも相対して地球人として環境保全を推進するための物を大切に生活習慣の徹底
    - ②スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進
    - ③暴力根絶の徹底
  - 会員登録制度の推進を図る。
    - ①会員登録制度の定着および充実
    - ②会員登録手続きの効率化
    - ③会員報の発行
    - ④登録状況の把握と改善
  - 長期基本計画2012(平成24年度～28年度)の進捗状況を把握し、着実に計画を推進する。
  - 東京オリンピックを見据え、ソフトテニスの国際普及・振興を図るため、長期的展望に立った長期計画を新たに策定し、2020年を良い機会として捉え、世界ジュニア選手権大会、世界選手権大会、関西ワールドマスターズカップと、このようなジュニアからシニアまでを対象にした3大会を開催し、真に競技スポーツと生涯スポーツを併せ持つソフトテニスの祭典の日本での実現を目指す。またオリンピック参加の足掛かりとなる活動も総力をあげ、積極的に展開する。

平成27年度収支予算書(平成27年4月1日～28年3月31日)

単位：千円		科 目		予算額
I	事業活動収支の部	予算額		
	1. 事業活動収入			
	(1) 基本財産運用収入	1,100		
	1. 基本財産運用収入	1,100		
	(2) 会費収入	298,350		
	1. 支部分担金	7,500		
	2. 会員登録料	254,050		
	3. 維持会費	36,800		
	(3) 事業収入	150,512		
	1. 大会参加料	29,072		
	2. 用具検定費	25,000		
	3. 機関誌関係費	8,900		
	4. 技術等級認定料	6,000		
5. 公認審判員収入	63,240			
6. 出版物収入	18,300			
(4) 補助金等収入	69,520			
1. 補助金収入	69,520			
(5) 協賛金寄付金収入	31,950			
1. 協賛金	31,350			
2. 寄付金	100			
3. 免税募金	500			
(6) 雑収入	4,071			
1. 受取利息収入	46			
2. 広告料	1,820			
3. 雑収入	2,205			
(7) 他会計からの繰入金収入	0			
1. 一般会計	0			
2. 募金会計	0			
事業活動収入計	555,503			
2. 事業活動支出				
(1) 事業費支出	427,681			
1. 大会開催地関係費	55,466			
2. 地域大会補助費	4,300			
3. 地域グループ育成費	70,320			
4. 広報活動費	40,300			
5. 表彰費	12,500			
6. 技術等級関係費	1,335			
7. 公認審判関係費	22,850			
8. 用具施設製作費	1,300			
9. 競技力向上費	162,300			
10. 指導者育成事業費	6,500			
11. 大会開催等関係費	19,670			
12. 日本スポーツマスターズ参加支援費	3,025			
13. 親善大会費	1,400			
II	投資活動収支の部			
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0			
2. 投資活動支出				
(1) 職員退職積立金支出	1,500			
(2) 資産取得資金積立金支出	10,000			
1. 資産取得資金積立金支出	10,000			
投資活動支出計	11,500			
投資活動収支差額	△11,500			
III	財務活動収支の部			
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0			
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0			
財務活動収支差額	0			
IV	予備費支出			
当期収支差額	△31,000			
前期繰越収支差額	31,000			
次期繰越収支差額	0			

(注)1. 借入金限度額 100,000千円

## 平成27年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日程	28年度
主催大会	第22回全日本シングルス選手権大会	千葉県千葉市	5月16日(土)・17日(日)	奈良県明日香村
	男子第60回・女子第59回 全日本実業団選手権大会	岩手県北上市	7月24日(金)～26日(日)	愛媛県 大洲市/今治市
	第32回全日本小学生選手権大会	富山県高岡市	7月30日(木)～8月2日(日)	(北海道・東北)
	第43回全日本社会人選手権大会	愛媛県松山市	9月5日(土)・6日(日)	(関東)
	第19回全日本シニア選手権大会	宮城県仙台市	9月11日(金)～13日(日)	(九州)
	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第22回全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	9月19日(土)・20日(日)	広島県広島市
	第70回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	滋賀県長浜市	10月23日(金)～25日(日)	(中国・四国)
	第29回日本実業団リーグ	京都府福知山市	10月30日(金)～11月1日(日)	京都府福知山市
	第22回全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	10月31日(土)・11月1日(日)	千葉県白子町
	第8回アジア選手権大会日本代表予選会	大阪府大阪市	11月7日(土)・8日(日)	
	第33回日本リーグ	愛知県豊田市	12月17日(木)～20日(日)	愛知県豊田市
	第61回全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	28年 1月17日(日)	大阪府大阪市
	日本リーグ入替戦	愛知県名古屋市	28年 2月13日(土)・14日(日)	愛知県名古屋市
	スポーツ事業	第10回ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮城県宮崎市	11月13日(金)～16日(月)
第27回都道府県対抗全日本中学生大会		三重県伊勢市	28年 3月26日(土)～28日(月)	三重県伊勢市
第15回全国小学生大会		千葉県白子町	28年 3月29日(火)～31日(木)	千葉県白子町
共催大会	第44回ハイスクールジャパンカップ	北海道札幌市	6月25日(木)～28日(日)	北海道札幌市
	西日本シニア選手権大会	福岡県福岡市	6月27日(土)・28日(日)	
	第70回東日本選手権大会	千葉県白子町	7月11日(土)・12日(日)	
	第69回西日本選手権大会	熊本県熊本市	7月18日(土)・19日(日)	
	全日本高校選手権大会(男子)	奈良県明日香村	7月28日(火)～31日(金)	
	全日本高校選手権大会(女子)	奈良県明日香村	8月1日(土)～4日(火)	
	全日本学生選手権大会	山形県山形市他	8月4日(火)～10日(月)	
	第42回全日本レディース大会(個人戦)	新潟県新潟市他	7月25日(土)～26日(日)	
	第46回全国中学校大会	山形県天童市	8月21日(金)～23日(日)	
	第37回全日本レディース決勝大会(団体戦)	宮城県仙台市	8月22日(土)～23日(日)	
	日本スポーツマスターズ2015	石川県能登町	9月19日(土)～21日(月)	秋田県
	第70回 国民体育大会	和歌山県白浜町	9月27日(日)～30日(水)	岩手県北上市
	第40回全日本高校選抜大会	愛知県名古屋市	28年 3月28日(月)・30日(水)	愛知県名古屋市
国際	第24回日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国 済州島	8月23日(日)～29日(金)	中国
	第15回世界選手権大会		～	
その他	第28回ねりんピック2015	山口県宇部市	10月17日(土)～19日(月)	

◇諸事情により変更となる場合があります。

◇上記大会では、ドーピング検査を実施する可能性があります。

## 平成26年度日本スポーツ振興センター助成事業一覧

下記の事業については、独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成を受けて実施いたします。

基金助成		くじ助成	
事業名	助成額(内示)	事業名	助成額(内示)
全日本男子アンダー合同合宿	3,606,000	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3)	41,346,000
全日本女子アンダー合同合宿	2,394,000	ドーピング検査	7,410,000
JOCジュニアオリンピックカップ大会 /全日本ジュニア選手権	1,205,000		
第69回天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会	2,000,000		
全国小学生・中学生・高校生指導者研修会	1,420,000		
計	10,625,000	計	48,756,000



**スポーツ振興基金**  
独立行政法人日本スポーツ振興センター



FOR ALL SPORTS OF JAPAN